

## とせき 戸関遺跡 その2

### 地震痕跡がみつかりました

4月からはじまった戸関遺跡の発掘調査は半ばをむかえています。発掘調査によって過去に地震が起こったことを示す痕跡がみつかりました。地下から上方に向かって一直線に砂が噴き上がっているのが地震痕跡の「<sup>ふんさ</sup>噴砂」です(写真1)。これがみつかったことで、強い地震が生じた際、砂を含んだ水が地表面に流れ出す「液状化現象」が戸関遺跡とその周辺で起こったことがわかりました。

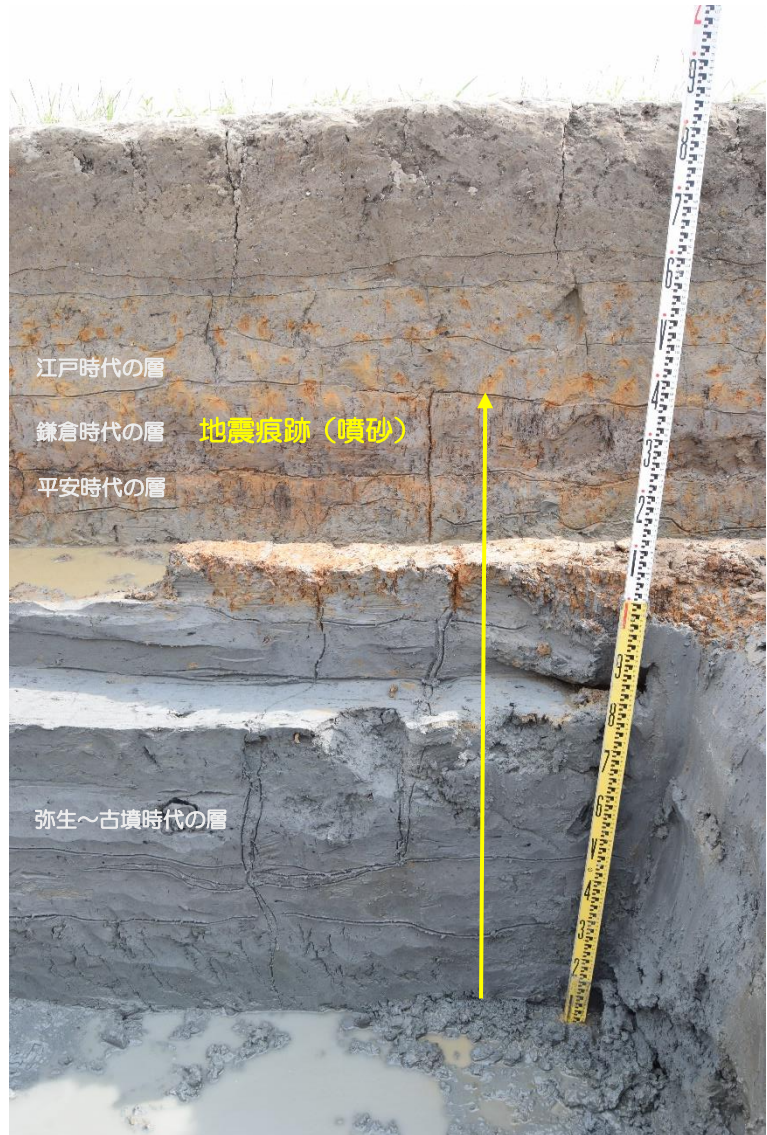


写真1 (北から)

地震は今も昔も人々に大きな被害をもたらすため、大地震をはじめとして国の記録や貴族の日記などに記録が残っています。地震痕跡のなかにはこれらの記録からその地震が生じた年月日まで特定できる場合があります。

今回の地震痕跡については地震発生時の地表面を後世の耕作が削り取ってい

たため、いつの地震であったのか特定するのは難しいかもしれません。しかし、砂が噴き上がる一番上の層から鎌倉時代の土器が出土していること、地震痕跡を覆う土層から出土した土器が 16 世紀末頃から江戸時代のものであることを考え合わせれば、少なくとも鎌倉時代以降、江戸時代以前に起こった地震によって生じた地震痕跡と考えられます。



写真2（西から）

戸関遺跡では今回報告した地震痕跡以外にも、平安時代の柵あるいは建物の柱穴などが多数みつかっています（写真2）。その下層では古墳時代や弥生時代の土器が多数出土しています。昔の人々が生活していた徳田町はどんな姿だったのでしょうか。今後の成果にご期待ください。

**問い合わせ先**

515-0325

三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター

担当：櫻井・土橋・樋口

電話：0596-52-7028

FAX：0596-52-7035